



日建協

日建協 第2回 時短アイデア大賞・図画コンクール



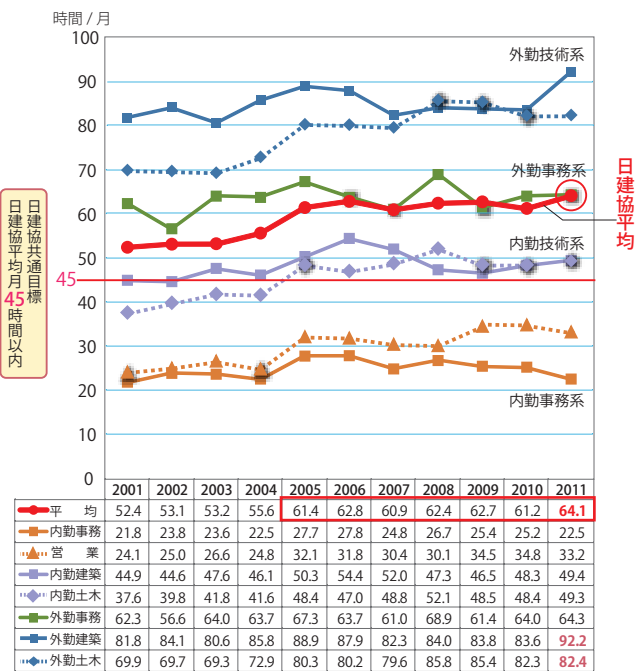
<http://nikkenkyo.jp>

はじめに

建設産業に働く私たち組合員の労働環境の実態は、年々厳しい様相を呈しています。毎年組合員を対象に実施している時短アンケートによると、私たちの所定外労働時間は、日建協平均が月60 時間を超えており、また外勤技術系では月80 時間以上の過重労働をしている組合員が約半数以上存在しているなど、依然として高い水準にあります。

日建協では長時間労働の改善をめざし、建設産業で働く私たちの経験や知恵を結集して、時短に関する良い事例やアイデアを水平展開し、連帯して時短を進めていくために、「日建協 時短アイデア大賞」を開催しています。

第 1 回の大賞作品には「帰宅時間申告ボード」が選ばれました。帰宅時間申告ボードは、これまでに 2 万 5 千個以上製作され、多くの組合員や建設産労懇の仲間に配布され、建設産業全体の時短推進に貢献しています。また、その他のアイ



所定外労働時間の推移

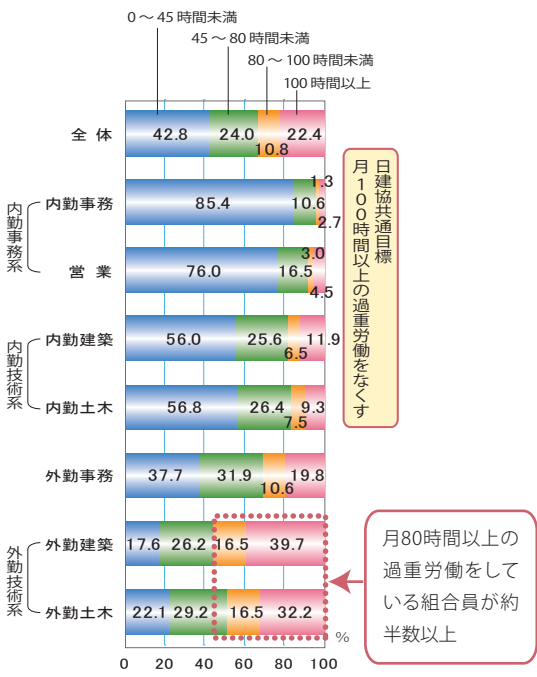
デアも多く活用され、時短意識が着々と高まっていることが実感されます。

今回も、加盟組合の皆さんから多くの素晴らしいアイデアが集まりました。応募いただいた事例やアイデアをこの冊子にて紹介しますので、建設産業で働くみなさんが時短に取り組む“きっかけ”や“ヒント”になれば幸いです。

また、ご家族の皆さんからは「家族と休みの日にしたいこと」について図画を募集しました。図画に込められたご家族の思いをしっかりと受け止め、ワーク・ライフ・バランスの実現、休日のあり方を考える“きっかけ”にしていきたいと思います。

ぜひ、この作品集を職場で活用していただき、所定外労働時間の削減につなげ、働き続けられる魅力ある建設産業の実現に役立てていただければ幸いです。

2012 年 7 月



所定外労働時間の分布

もくじ

第 2 回 時短アイデア大賞

大 賞	休日約束手形と 早く帰る約束手形…………… 01
	― 家族との約束を休む意識へ、絆の見える化がみんなの笑顔に ―
優秀賞	標語入り 土曜閉所運動ヘルメットステッカー …… 02
	― 休むことの大切さを 産業全体に広めよう ―
優秀賞	残業目覚ましウィンドウ …… 03
	― 残業時間の業務効率化から自己の休む意識を変える ―
入 選	ノー残業当番…………… 04
	― 作業所におけるノー残業の新しい実践 ―
入 選	クリーンにノー残業デー …… 04
	― 清掃活動と時短活動のコラボレーション ―
入 選	クッキングパパ !!…………… 05
	― 料理に込めた 家族への気持ち ―
入 選	帰りま週間…………… 05
	― 残業なしの影響を検証し 時短実現へ ―
入 選	出勤予定を明確にして、休日取得の促進 …… 05
	― 働くみんなのチームワークで休日取得推進 ―

第 1 回 時短アイデア大賞 受賞作品の展開を紹介！

帰宅時間申告ボード…………… 06
― 目標とする帰宅時間を表示して、帰りやすい雰囲気づくり ―
私の『休日宣言』…………… 06
― 休めるように業務をこなす意識と、周囲へのアピール ―

第 2 回 図画コンクール：家族と休みの日にしたいこと

金賞受賞作品…………… 07
銀賞受賞作品…………… 09

他にも多くの作品が集まりました !! …… 12
応募者リスト…………… 16

第2回 時短アイデア大賞



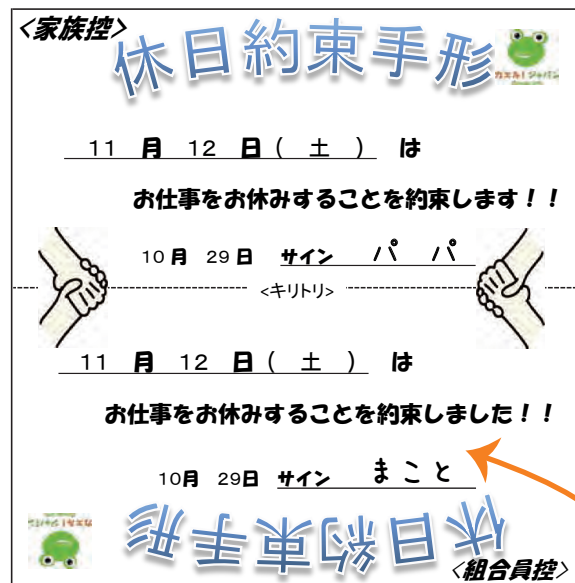
「休日約束手形」と「早く帰る約束手形」
— 家族との約束を休む意識へ、絆の見える化がみんなの笑顔に —

家族と団欒の時間を約束する「早く帰る約束手形」



中央で切り離し、約束手形の片方を持って、職場に掲示します。

旅行やイベントなど、家族と共に過ごす一日を約束する「休日約束手形」



ご家族と約束のサインをお互いに書きます。

受賞者：名工建設職員組合
伊與田 尚秀 さん



休日や早く帰る日時を家族と一緒に記入して「約束手形」として形にします。それぞれ控えを持つことで、休日の取得や早く家に帰ることを意識すると同時に、効率的な業務遂行を考えます。どんな紙でも手軽に作ることができます。

大切な人との「絆」から

昨年の3月11日の東日本大震災以降、“絆(きずな)”という言葉がクローズアップされることが多くなりました。

実際に私たちはたくさんの人との“絆”のおかげで仕事や生活することができています。それは家族であったり、会社で共に働く仲間であったり、とても大切な人たちです。その大切な人たちとの絆を可視化することで再認識し、同時に「休む」「早く帰る」ことへ結びつけられれば、と考えました。

アイデアに込めた思い

『休日約束手形』や『早く帰る約束手形』を家族や大切な人と交わすこと、つまり、強固な約束“絆”によって、休むこと、早く帰ることの大切さを改めて認識してほしい。それが時短につながり、家族をはじめとする大切な人たち、そして働く組合員の笑顔に結びついたらいいなあ、と思います。そして、ワーク・ライフ・バランスの実現、ココロとカラダの健康の維持、魅力的な職場の実現など、建設業界を創っていくことへのひとつのツールとして活用いただければ、というのが私の願いです。

受賞してひとこと

休むこと、早く帰ることは何より“本人の意識と実行”が大切です。私の今回のアイデアが少しでもその後押しになることを願っています。

家族との“絆”見える化し、職場のみんなと協力して時短に取り組むという点に独創性があり、また気軽に取組めるということで高く評価されました。ノー残業デー等の時短施策と併せて、『休日約束手形』と『早く帰る約束手形』は効果的な活用が期待できそうですね。



標語入り 土曜閉所運動ヘルメットステッカー
— 休むことの大切さを 産業全体に広めよう —

実施中



標語入り 土曜閉所運動ヘルメットステッカー

『生活の充実度向上が、
仕事の充実度を上げる!』

2011年11月12日と
2012年 6月 9日は、
日建協統一土曜閉所日です。



『休むことの大切さを
再認識しよう!』

2011年11月12日と
2012年 6月 9日は、
日建協統一土曜閉所日です。



ヘルメットステッカーは、作業所関係者全員で時短活動の雰囲気を盛り上げようといった趣旨と、働いている人の目につきやすく、また一年を通して貼っておけるという点が高く評価されました。一枚のステッカーを通して、時短の意識が産業全体へ広がるといいですね。

受賞者：大和小田急建設労働組合
林 洋平 さん



統一土曜閉所に関する標語を書いたステッカーを作成し、各作業所に配布してヘルメットにつけてもらいます。

統一土曜閉所を通じて、作業所に従事している方全員の時短への意欲が高まるようにとの思いから、作成・実施しています。

協力会社の方にもステッカーを付けてもらい、作業所全体で統一土曜閉所を通じた日々の時短意識の向上、および休日取得に対する意識付けができればと考えています。

また、協力会社の方が他の作業所に行った際、他社の方にも意識してもらえるのではないかと考えています。

成功例を具現化し取り組みに活かす

過去にテプラを使用し、統一土曜閉所日を印字しヘルメットに貼ったところ、職員だけでなく作業員にも周知でき、閉所できたという成功例が職場集会であがりました。

この成功例を参考にして、今回はオリジナルの標語を加え、ステッカーという形で具現化しました。

『継続して言い続け、お互いに認識しあおう』 という思いを込めて

作業所の時短を推進する上で、即効性のある解決方法を見つけることは難しいと感じているため、『継続して言い続けること』『お互いに認識しあうこと』が重要であると考えています。

そこで、統一土曜閉所ポスターによる周知と同時に、お互いが顔を合わせて会話をする中で、ヘルメットに貼ってあるステッカーを見ることにより、土曜閉所の認識を高めることができればとの想いで作成しました。土曜閉所の認識が少しでも向上するきっかけになれば嬉しく思います。

受賞してひとこと

組合活動を通じて一つの意見が具現化し、アイデア大賞優秀賞受賞と大きく花開いた結果となりました。

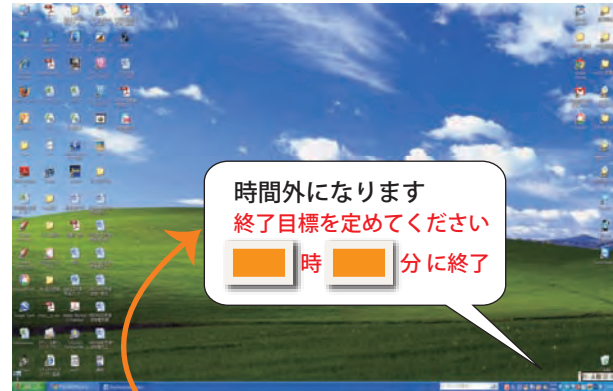
『時短につながる小さな一歩』となれば嬉しく思います。



残業目覚ましウィンドウ

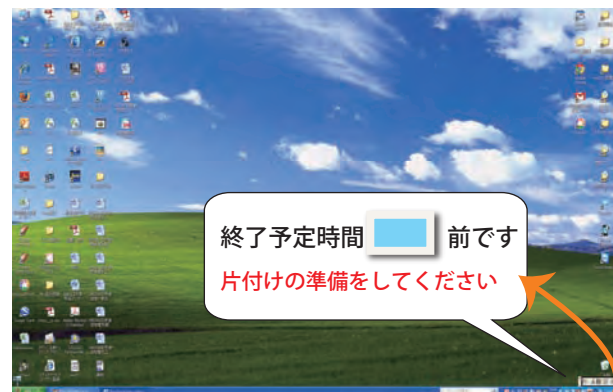
— 残業時間の業務効率化から自己の休む意識を変える —

業務に集中していて、ついつい長時間に……。所定外労働時間になったことを知らせてくれます。



所定外労働時間に入ったことを知らせ、終了目標を自ら立てます。

所定外労働時間の記録が残り、毎月の反省や業務効率化に役立てることを考えています。



業務終了時間を知らせます。

パソコンは業務に欠かせないものであり、内勤・外勤者に共通した取り組みが期待できます。業務時間に目標を持って仕事に取り組めば、業務の効率化にもつながりますね。毎日の業務時間にメリハリをつけて、ワーク・ライフ・バランスを実現させましょう。

受賞者：戸田建設職員組合
金澤 郁人 さん



パソコンに表示される【ポップアップ】を利用し、所定外労働時間の業務効率化を図ります。

- ① 所定外労働時間になると【ポップアップ】が立ち上がる。
- ② 目標をもって【終了予定時刻】を入力する。
- ③ 終了予定時刻10分前から再び【ポップアップ】が立ち上がり帰宅を促す内容を表示する。
- ④ 記録が残り、所定外労働時間の予定と実施がグラフ化されてレポートとして出力される。

所定外労働時間の勤務時間設定を、目標を持って自ら定めて実行していくことにより、所定外労働時間に対する取り組みの工夫を見直していくことができると考えます。

自己意識を変えることが時短につながる

当組合の時短推進活動から、自ら帰宅時間等を設定し、目標を持って業務に取り組むこと、休むことへの自己の意識を変えることが時短につながると実感しました。

誰でも手軽に実践しやすいツールがあれば、より有効であると思い、今回のアイデアを考えるきっかけとなりました。

自分の時間は自分でつくる

日々の業務に埋没し、自分らしい生活を見失ってははいないでしょうか。

自ら率先して得た時間は、視野を広げ、趣味や家族と過ごす時間として有意義に使うことができると思います。

また、ゆとりある時間の確保・業務の効率化が、業務を健全に行うためにも大切であると考えます。

今回のアイデアが実現し、時短への取り組みに活かされることで、皆さんの生活の充実に寄与することができればと思います。

受賞してひとこと

組合活動を通じて得られた時短への取り組みに対する想いが、優秀賞という形で評価をいただきました。大変嬉しく思います。みなさまの時短推進活動のきっかけの一つとなれば幸いです。



ノー残業当番

— 作業所におけるノー残業の新しい実践 —

実施中

当番者がわかるように机の上に三角塔を置く。



作業所でのノー残業デーを実施するアイデアとして、すぐにでも実施可能であること、また、当番者に三角塔を置くなど取り組みやすい点が高く評価されました。職場みんなのサポートも大切です。チームワークと協力で作業所の時短に取り組みませんか。

受賞者：奥村組職員組合

職場全員が一斉に帰宅することができない作業所において、あえてノー残業を行う職員を当番制にすることで、ノー残業デーを実施可能にします。

作業所で実現できるノー残業当番

- ① 作業所において、週間工程会議等で日々のノー残業を行う当番者を決定する。
- ② その日のノー残業当番者は残業を行わないように、業務を計画的に進め、定時退社する。
- ③ 作業所長や上司は、当番者が定時帰宅できるように業務配分を調整する。

期待される効果

- ・ 当番制とすることで、職場の全員が公平に対象者となることで帰宅しやすい雰囲気ができる。
- ・ 事前に予定がわかるので、帰宅後の予定を組みやすい。(趣味の教室に通ったり、友達と予定を合わせたりするのに良い)



クリーンにノー残業デー

— 清掃活動と時短活動のコラボレーション —

受賞者：飛鳥建設労働組合
兼松 亮 さん

毎月1日、職場の一斉清掃を実施し、半強制的に全員がノー残業デーを実施せざるを得ない状況を作り出し、時短を推進する。

「クリーン」と「ノー残業デー」のコラボレーション

- ・ 毎月1回、職場の一斉清掃を実施します。
- ・ 清掃は職員数名の班体制で交代で行います。
- ・ 清掃実施日は定時業務終了後に清掃を開始します。その際、清掃担当者以外は職場から強制的に退出してもらいます。
- ・ 清掃時間は30分程度を目安にし、清掃終了後、職場を開放します。それ以降の業務はできる限り行わないよう周知徹底しますが、業務多忙な職員はこれ以降は、業務を再開することができます。

環境意識・コミュニケーションの向上にも!

職員全員が清掃を行うことにより、職場環境維持への意識向上につながり、また残業しなければならない人を把握でき、対応を検討するきっかけ作りにもなります。清掃担当班を部・課を越えて構成することにより、職員同士のコミュニケーション向上につながります。

清掃実施後は懇親会などが開催できれば効果倍増です。



職場環境の向上に「清掃活動」と「時短活動」とのコラボレーションというアイデアに独創性があり、印象も強いなど、高い評価を受けました。職場の皆で取り組めるものとして、職場全体の時短推進活動につながることが期待されます。掃除を通してのコミュニケーションから、職場の雰囲気も良くなれば一石二鳥ですね。

第2回 時短アイデア大賞

入選 クッキングパパ！！ — 料理に込めた 家族への気持ち —

受賞者：名工建設職員組合 山本 哲郎 さん

普段家事を奥さんに任せきりのお父さんを対象に、家族に喜んでもらえる取り組みとして、月に1回平日の夜や休日に料理を作る日を設けます。

家族が楽しみにしていることを考えれば、お父さんは当日までに仕事のスケジュールを考え、効率よく業務を遂行することができるようになります。

家族への気持ちを時短につなげる

時短実現のために必要なことは本人の「早く帰る」、「休日を取得する」という気持ちです。家族を巻き込むことで時短に対する気持ちが強くなるのではないかと考えています。



家族との時間を大切にすることを時短推進活動に活かし、ワーク・ライフ・バランスの実現を推進するという点で高く評価されました。手料理を家族に振る舞うことで、家族の会話もはずみますね。後片付けまですればさらにポイントアップです。

入選 帰りま週間 — 残業なしの影響を検証し 時短実現へ —

受賞者：佐藤工業職員組合 中嶋 智樹 さん

部署単位、またはフロア単位で、一人ずつ（複数人でも可）輪番制による残業なし帰宅週間を設けます。月単位または1ローテーション毎に部署業務全体への影響の有無を検証し、影響がある場合は解決策を検討します。

早く帰ることへの抵抗をなくす効果も

輪番制により、上司、同僚、部下が残っていても「帰る」ことへの抵抗をなくすことにもつながります。また、月単位、週単位で自らの業務にメリハリをつけると共に、残業なしで帰宅するための業務のやり方を考える機会になります。



どの職場においても取り組みやすく、また仕事と時短を両立させる工夫が評価されました。早く帰るにはどうすれば良いのかを検証・解決して時短の実現を図りましょう。

入選 出勤予定を明確にして、休日取得の促進 — 働くみんなのチームワークで休日取得促進 —

受賞者：戸田建設職員組合 加藤 北人 さん

出勤予定表を用いて休日取得促進を行います。工夫しているのは以下の点です。

- ① 事前に休日の希望を書き込む「休日取得希望表」を回覧。
- ② 休日日数は役職を問わず平等に記入。
- ③ 職員をグループ分けして休日が重複しないよう調整し、引き継ぎはグループ内で綿密に行う。
- ④ 安全当番を役職を問わず平等に割り当て、現場管理の仕事の偏りを軽減。

休日取得予定日の確定

出勤予定を明確にすることで、休日取得の予定も立てられます。早めに計画して休日取得予定日を決定することで、業務上も休む準備ができ、休日を取得しやすくなりました。

氏名	9月		10月														
	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
戸田	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	統括管理者
組合	休	休		有休				休	休	休					休	休	グループA
東北	休	休					10/6	振休	休	休					休	休	グループA
支部	休	休		10/6	振休				休	休					休	休	グループB
加藤	休	休			10/8	振休		休	休			10/13	振休	支店	休		グループB

第1回 時短アイデア大賞 受賞作品の展開を紹介！

第1回 大賞 帰宅時間申告ボード — 目標とする帰宅時間を表示して、帰りやすい雰囲気づくり —



部署内の各自の席（パソコンのモニター上部）に取り付け、各自が目標帰宅時間を表示するものです。帰宅時間の見える化により、帰りやすい雰囲気づくりが進み、職場のコミュニケーションツールとしても活用されています。

帰宅時間申告ボードの建設産業へのひろまり

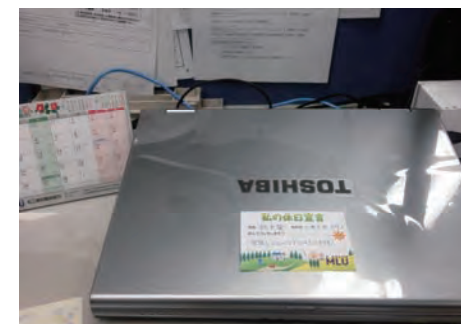
大賞受賞者の所属するシミズユニオンでは、外勤者・内勤者を問わず上職者も含めて全従業員に、約1万個の帰宅時間申告ボードを配布し展開を図りました。その結果、帰宅時間について自分への意識付けや目標設定をして仕事を行うようになり、また、仕事の優先順位付けや効率を図ることにより、残業時間が減ったとの声も上がっているようです。

日建協においては、建設産業へ時短意識をひろげるために、約1万5千個の申告ボードを加盟組合や建設産労懇の仲間に配布しました。また、内閣府、厚生労働省、国土交通省などの中央官庁や、日建連、全建等の業界団体にも紹介しました。時短アイデア大賞は建設産業全体の時短推進に貢献しています。

活用された方々の嬉しいコメント

「時間を提示することにより、帰宅しやすくなりました」
「上司、部下の帰宅時間がわかり、業務分担できるようになりました」
「時間を意識して仕事に取り組めるようになり、業務の効率化に役立っています」
「メリハリをつけて仕事に取り組めるようになり、予定通りの時間に帰宅できると達成感も感じられます」

第1回 優秀賞 私の『休日宣言』 — 休めるように業務をこなす意識と、周囲へのアピール —



作業所の土曜閉所日や、自分が休む予定をした休日などに何をするかを、家族に書いてもらったり、自分自身で書いて、デスク上や作業所の予定表などに表示しておくものです。

職場でも家庭でも活用 —— 私の『休日宣言』

優秀賞受賞者の所属する名工建設職員組合では、オリジナルの付箋を作成し、社員全員に配布しました。また、経営協議会の場でも経営者側へ説明し、労使共に取り組むと同時に、各家庭宛にも郵送し、家族への広報と協力を求め、より広い活動になるよう展開しました。現在、職場でも家庭でも活用されています。

活用された方々の嬉しいコメント

「付箋紙やメモ帳の替りに使うこともありますが、「休日」の文字を目にするので、休むことを意識するようになりました」
「事前に休む宣言をし、休めるように周りと協力しながら計画的に仕事をするようにしています」
「家族に書いて貰う事で、休む意識が高まりました」
「休日取得の理由をきっかけに、仕事以外の話もするようになり、コミュニケーションが活発になりました」

「私の休日宣言」は厚生労働省の労働時間等見直しガイドラインのリーフレットに、「取り組み好事例」として紹介されました。



第2回 図画コンクール:家族と休みの日にしたいこと

<小学生未満の部 金賞>

『きりんさん^{しろ}にのって^{かぞく}
白くまやペンギンと家族みんなで
さんぽをしたいなあ』

まつおか りさ

松岡 理沙さん (年長)

(松岡 雅代さん:シミズユニオン)

絵が明るく、キラキラとしていて、わくわく感や楽し
みにしている気持ちがよくつたわってきます。きりん
さんの背中からみる動物たちも、とても楽しそう。み
ているだけでウキウキしてきますね。



<小学生未満の部 金賞>

『たこあげとボール遊び^{あそ}』

なかにし あやこ

中西 彩子さん (4歳)

(中西 貴彦さん:大鉄工業労働組合)

大きな空にあがった“たこ”と、きれいなチョウが
上手に描けていますね。家族みんなが笑っていて、と
っても楽しそう。お休みの日のうれしい気持ちがいつ
ぱいつまっています。次の休日が楽しみです。



<小学生低学年の部 金賞>

『おばあちゃんと畑でとったよ。
なすとトマト』

おいし ひな

尾石 陽菜さん (小学3年)

(尾石 勝明さん:浅沼組職員組合)

大きく育ったなすとトマトがおいしそう。家族み
んなの楽しそうな収穫の様子がよくつたわってきます。
おばあちゃんと収穫したなすとトマトはとてもおいし
かったのではないのでしょうか。思い出の味ですね。



<小学生低学年の部 金賞>

『こわかったね 仁王さん^{におう}』

たかはし ゆずな

高橋 柚奈さん (小学1年)

(高橋 義弘さん:飛島建設労働組合)

大きくてまっ赤な仁王さんの迫力がつたわってきます。今
にも動き出しそう! こわそうな仁王さんの前で、家族みんな
が楽しそうにしているのが好対照です。こわかった仁王さん
も忘れられない思い出ですね。



<小学生高学年の部 金賞>

たんしんふにんちゅう

『単身赴任中のパパへ
パパの住んでる町。
パパ、また会いに行くよ!』

たむら こうき

田村 洸樹さん (小学4年)

(田村 秀子さん:五洋建設労働組合)

景色の描写がすばらしいですね。木の映った水面
など、本物の池を見ているようです。お父さんと一緒
にすごしたひとときの楽しさがつたわってきます。お
仕事をがんばっているお父さんに、また会いに行っ
てくださいね。



<小学生高学年の部 金賞>

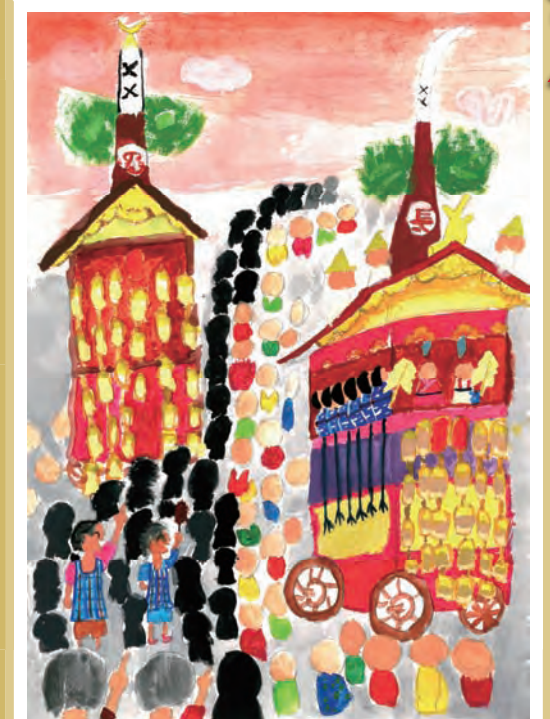
『夏はやっぱり祇園祭り^{ぎおん まつ}』

おいし るい

尾石 瑠依さん (小学6年)

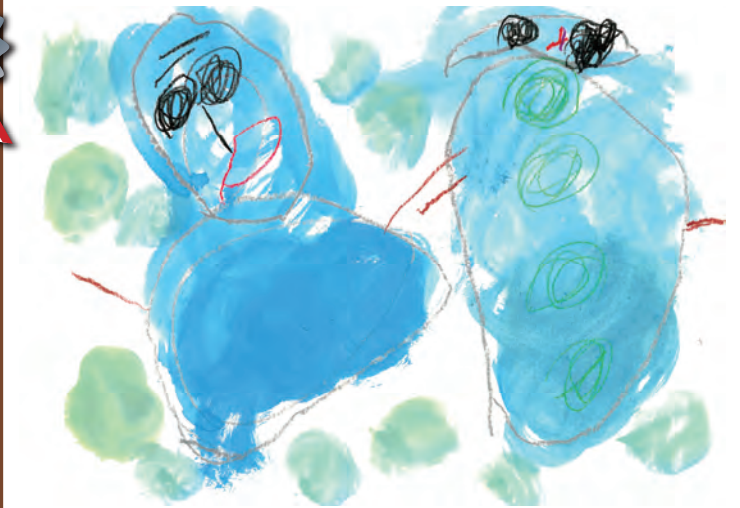
(尾石 勝明さん:浅沼組職員組合)

色鮮やかな山車や、ずっとむこうまで続く人波から、祇園祭りの
ぎやかな様子がよくつたわってきます。本当にお囃子が聞こえてき
そうです。今年の夏も家族みんなで祇園祭に行けるといいですね。



第2回 図画コンクール:家族と休みの日にしたいこと

銀



<小学生未満の部 銀賞>
ゆき
『雪あそび』

いさき さちか
伊崎 祥知花さん (3歳)
(伊崎 貴文さん: 名工建設職員組合)

たくさんの雪を見ておはしゃぎ。夢中になって雪あそびをしている楽しい様子がつたわってきます。画用紙いっぱい元気さがあふれていて、迫力満点の絵ですね。

<小学生低学年の部 銀賞>
『ほんもののシャチにのったよ』

すぎうら けいじ
杉浦 慶士さん (小学1年)
(杉浦 健吾さん: シミズユニオン)

大きなシャチに乗っているみんなの笑顔から、楽しそうな様子がつたわってきます。でも、本当はシャチに乗るのは怖かったんじゃないのかな? 誰かがシャチに食べられそうになっています(笑)。

銀



<小学生未満の部 銀賞>
だいす やきゅう
『大好きな野球』

な す ひろと
那須 博登さん (年長)
(那須 功司さん: 西松建設職員組合)

輝く太陽、青い空、緑の芝生。最高の環境で、お父さんと夢中になって野球をしている様子がよくつたわってきます。次のお休みに、また野球ができるのを楽しみにしている気持ちが、元気な絵に出ていますね。

銀



<小学生未満の部 銀賞>
さかな
『みんなでお魚つりたいなあ』

おおびつ ひろ
大櫃 比呂さん (年長)
(大櫃 稔弘さん: フジタ職員組合)

青い海、真っ赤な太陽、虹も出ていて色がとてもきれいです。いろいろなお魚がつかれましたね。家族みんなと休みの日に楽しんでいる雰囲気がよくつたわってきます。またお魚つりに行けるといいですね。

銀



<小学生低学年の部 銀賞>
『海のおさんぽ家族』

ほその あさこ
細野 朝子さん (小学3年)
(細野 晋作さん: シミズユニオン)

海の中をみんなでお散歩、とても気持ちがよさそうですね。家族とたくさんのお魚の、なかよく楽しそうに遊んでいる様子がとてもよくつたわってきます。お目当てのお魚とは会えたかな…?

銀





＜小学生高学年の部 銀賞＞

『家族で行って楽しかった思い出』

ふかつ ゆう
深津 惟有さん (小学 5 年)
(深津 有彦さん：奥村組職員組合)

風景がとてもきれいに描けていますね。さわやかな森の風が吹いてきそうです。お父さんの手に乗っているのはフクロウかな。大自然の中で過ごした、家族の思い出に残る旅行であったことが伝わってきます。



＜小学生高学年の部 銀賞＞

『また行きたい 楽しかった室生寺』

たかはし わかな
高橋 若奈さん (小学 6 年)
(高橋 義弘さん：飛鳥建設労働組合)

室生寺の五重の塔がとても堂々としていますね。背景の森も上手です。家族全員の笑顔がすてきで、楽しかった家族旅行の様子がよく伝わってきます。またお父さんの休みにみんなで旅行できるといいですね。



＜小学生高学年の部 銀賞＞

『家族で食べるなべ』

やまだ むつき
山田 睦綺さん (小学 6 年)
(山田 昌敬さん：名工建設職員組合)

なべから立ちのぼる湯気がリアルで、家族で囲む食卓の雰囲気がよく伝わってきます。大きな口をあけ、なべができるのを待っている表情から、おいしそうななべの匂いがしてきそうですね。

ノー残業デーの実施

＜実施中＞

「職場の上長からの一斉メール」
あらかじめ、休日予定やノー残業デーの予定を調整・打ち合わせする担当者を選任しておき、責任を持って必ず開催・調整する取り組みを実施している。繁忙期の前にルール化すると良い。

「時短推進強化キャンペーン(職員全体行動)」
職場のコミュニケーション強化に着眼し、職場環境を作る中心となる上長(作業所長・課長)も参加する全体行動を計画・実行している。

「事務所の空気」
毎週、水曜日と金曜日には会社より全職員の携帯電話に「ノー残業デー」の連絡メールが届くようにしている。メールを見るだけでなく、声掛けを行い時短意識を高めている。

＜アイデア＞

「ノー残業・休み希望カード」
「ノー残業」「休み希望」マグネットカードを作成して各個人に配り、予定表や工程表に貼り付ける。ノー残業、休暇予定の見える化をはかる。

「残業の見える化(累計グラフにする)」
現場や所属部署で、日々の残業の時間数を記録し、グループで残業の累積数を共有し、目標ラインなども記録する。現状認識することで、対策への気づきに役立てる。

「ノー残業ローテーションチーム」
チーム単位で時短活動への取り組みを行う。チーム員は、自分の担当曜日をノー残業デーと定め、メンバーがそれをフォローする。

「作業所の閉所前日のノー残業 DAY の徹底」
休みの前日に自由な時間が得られることにより、家庭の時間や趣味の時間、また独身者は友人と飲み会に参加等、有意義に過ごすことができる。翌日が休みという優越感から、心がリフレッシュできるはず。

帰宅時間を早める

＜実施中＞

「業務効率向上に向けた現場運営」
現場業務の効率化を図るために、時間を生み出す工夫を行っている。

1)業務カテゴリーの洗い出し
現場業務を単位ごとに洗い出し、その業務性質から次のカテゴリーに分類する。
① 長期業務・・・概ね1ヶ月程度を要する計画要素の高い業務
② 中期業務・・・概ね2週間程度を要する運営要素の高い業務
③ 短期業務・・・概ね1週間未満で実施する管理要素の高い業務
④ 日々の業務・・・日々処理が必要な整理要素の高い業務

2)業務分担の配分
現場職員全員で上記業務内容を確認し、業務担当を決定する。その際に必ず、本担当・支援者・補助者 といった係わり合いを持たせる。

＜アイデア＞

「帰宅時間目標ボード」
各部署、作業所に帰宅時間目標を表示する。ホワイトボード等に掲示し、毎日、各部署、作業所の管理者が記載する。

「一週間の帰宅予定表」
一週間毎にホワイトボードに日々の帰宅(退社)時間を記入する。帰宅時間の見える化となり、コミュニケーションや業務の分担につながり、時短のきっかけとなる。

「予告定時退社」
野球の予告ホームランの要素を取り入れたもの。週末(木曜、金曜)に来週の業務予定及び現場の工事内容等を加味した上で、定時退社を行う日を決め、予定表に表示する。

「計画消灯」
日にちを決めて、事務所の電気を早い時間に消灯する。



ご応募ありがとうございます

休暇取得推進

《実施中》

「Mission ワン・ツー運動」

月の行事予定ボードなどに、個々の有給休暇宣言やノー残業デーの磁石を用意し、各自、予定日を付けておき、休めるようにする。
月に1日の有給休暇、2日のノー残業デーということで、運動の名前を「ワン・ツー運動」としている。

「有給休暇の取得向上へ向けた取り組み」

有給休暇の取得率向上を目指し、1ヶ月前までに休暇取得の届出を行うことを始めた。取り組みにより、以下の3つの利点があった。

- ①休暇予定を早めにスケジュールに組み込むことで、計画的に業務に取り組める。
 - ②事前に申し出ている分、上長からの理解も得やすい。
 - ③休暇予定を部・課内で早めに共有できるので、助け合える。
- 取り組みを行うことにより、有給休暇の取得率が上がり、家族旅行で家族との時間を大切にしている。

「ノー残業デー・土休取得に係る宣言・実行」

毎週末、予定表に翌週の宣言と今週の結果を書きこみ、部内での回覧を行う。また、部署内の人間が常に見る場所へ掲示することによって、意識付けの強化と、部署内で緩やかな共通認識となることを狙う。

「休日予定表の先行(土休取得ポイント制)」

作業所職員の土休取得に向けて調整するため、2ヶ月前から休日工程表への記入を行い、繁忙期でも交代で休めるように努力している。職員休日予定表に土休取得日数を記載してポイントとする。ポイントに応じて次期の休暇を調整する。

《アイデア》

「年次有給休暇取得状況の見える化」

年次有給休暇取得状況の見える化を行い、有給休暇の取得しづらい雰囲気を無くす。取得状況を公開し、取得率の低い職員には上司から取得を促すことで、有給休暇を取得しやすくなる。

「働きアリとフラミンゴ活動」

休みをしっかりとる運動（羽を休めるフラミンゴ）。仕事と休日にメリハリをつける。

「バック アッパー アピール！」

パソコンの壁紙、スクリーンセーバーに家族、恋人などの写真を貼り付け、コミュニケーションツールとして活用する。職場ではそのような時短を後押ししてくれる人をネタに会話し、バックアッパーを知ることにより、ノー残業や休日取得のしやすい環境を作る。

「自分の日を作ろう！」

毎月特定の日を“〇〇の日”として、必ず有給休暇を取得する。

職場環境改善と職場サポート

《実施中》

「職員が感じている「忙しい度数」の掲示」

各机に仕事量の度合いがわかる「忙しい度数」表示板を設置する。「余裕有り」「ちょっと余裕有り」「定時で帰れます」「忙しい!」「誰か手伝って!!」の5段階表示とする。周囲に手伝おうという意識が芽生え、偏ることなく仕事配分ができるようになり、声を掛け合い、チームワークで仕事を行うようになる。

「月曜の朝会で予定を確認!」

部署内全員が参加する月曜日の朝会で、その週の各自の仕事の進捗具合を確認する。有給休暇の取得予定についても調整している。仕事の進捗具合を報告することで、自分自身でも仕事スケジュールを改めて確認することができるとともに、部署長も部下の進捗具合を把握することができ、仕事の割り振りについても確認することができる。

《アイデア》

「帰宅時間申告マグネット」

時刻表ボードの帰宅予定時間に、名前を書いたマグネットを貼ることで、自分自身で帰宅時間意識し、周囲にもアピールする。

「定時帰宅宣言マグネット」

行動予定表や勤務予定表のホワイトボードに定時帰宅を宣言するマグネット(TK 宣言マグネット)を貼り、定時帰宅予定日を決め、周囲にアピールする。

「業務の分散化」

職員の現在の仕事内容をホワイトボードに記入して、全員がそれぞれの業務内容を把握できるようにする。手伝える業務は全員でサポートして、早く帰るよう作業所単位で取り組む。

「NO TEL HOUR 15:00」

15:00～16:00の1時間、社内間の電話を控え業務に集中できる時間を創造する。(できれば協力業者等にも意図を説明し、極力電話を控えてもらう)

「帰れコール」

子供に自宅からフリーのテレビ電話を使用して、帰れコールをしてもらう。PC画面に映る子供の姿に上司も部下も本人も帰る気持ちになる。

情報の共有化

《実施中》

「クラウドサービスを利用したスケジュール管理」

クラウドサービスのスケジューラーとToDoリストの機能を活用することで、タイムマネジメントを行うことにより時短を図る。

《アイデア》

「グーグルカレンダーの活用」

グーグルカレンダーを使用して、帰宅時間を管理する。帰宅予定時間1時間前に予告メールが来るように設定し、予定時間迄に帰れるように頑張る。また、一般公開にすると他の人の予定を見ることができ(情報の共有化)、ToDoリストの機能を活用することで、タイムマネジメントを行い、時短につながる。

「クラウドサービスを使った時短への取り組み」

クラウドサービスを利用し、関係者のスケジュールを外部で確認できるようにし、図面や工程表などの最新データを置き、確認できるようにする。必要な最新情報の確認がその場でできるようになり、オフィスへの往復の移動時間が不要になることで、実質的な時短に繋がる。

パソコン等の活用

《実施中》

「週間予定表(またはスケジューラー)利用したスケジュール管理」

週間予定表(スケジューラー等を含む)を作成し、部門内において翌週の週間予定の確認を事前に行う。部門内の社員の週間予定がわかるので、各自が業務にゆとりがあるときは忙しい人の業務をサポートする等の協力体制ができ、部内の業務がスムーズに進むようになる。

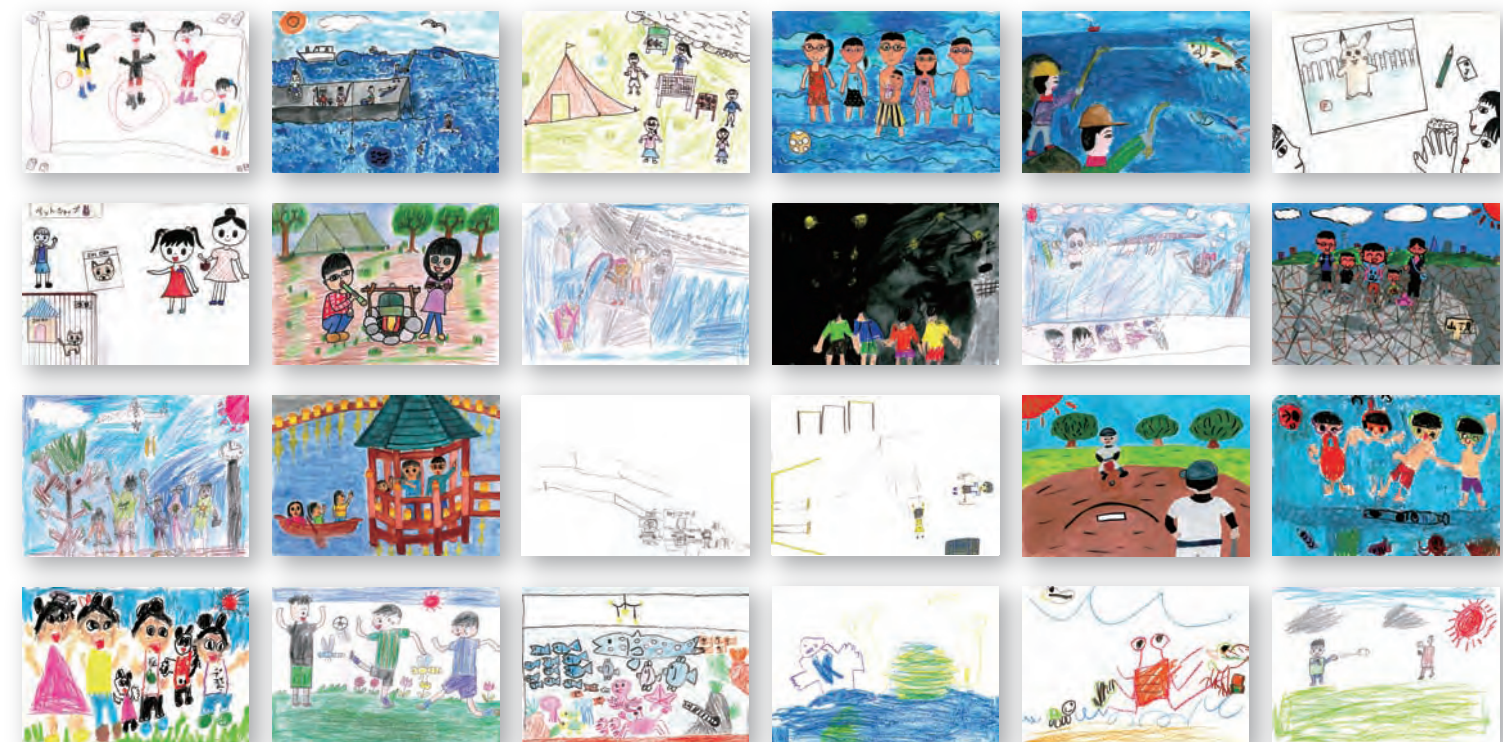
《アイデア》

「時短ポスターの待受け画面」

配布される時短ポスターをパソコンの待受け画面にする。時短への意識づけになる。

「PC ネットワーク スピードUP!」

パソコンのメモリ増設、ネットワーク環境の整備、共有ドライブの増設など、パソコンのスピードアップを図り、パソコンでの作業時間を短縮する。



ご応募ありがとうございます

仕事の優先度・時間管理による時短

《実施中》

「ソートノート」

物事の優先順位が変動する場合や、頭の中を一度整理するためのツールとして「ソートノート」を活用する。最優先、次優先、暇な時という区分を作り、項目を記入した付箋を貼ってやるべきことを整理する。

「デイリープランと仕事の棚卸シートによるマネジメント」

仕事を計画的に終わらせる方法として、タイムマネジメント手法のデイリープランと仕事の棚卸を活用している。現在抱えている仕事を明確化して優先順位をつけ、仕事時間を割り当てる。計画して仕事を進めることにより、時短(生産性の向上)を図る。

「パソコンの終了時間通知ソフトの開発」

ソフトで、パソコン起動時にパスワードと一緒に業務終了時間を入力しなければ起動しないようにする。業務終了時間のカウントダウンを表示し、終了時刻になると家族の写真や恋人の写真等に画面が変わるなど、時短の意識高揚を図る。

《アイデア》

「作業振り回りタイムの設定」

午前・午後に各1回作業の手を休み、取り組み中の作業が効率良い方法で行われているか、各自で見直す時間を設定する。作業にのめりこみ、効率の悪い方法になっていたりするため、それを解消し作業時間を短縮する。

「業務 To-Do リストの活用」

共通のフォーマットを作成し、各人が見えるところに貼付する。常に確認することで、仕事の抜けを防ぐとともに、周囲と仕事についてのコミュニケーション促進を図る。仕事の無駄や手戻りを省き、効率よく仕事を遂行する事で、早く帰れるようにする。

「タイムマネージメントノートを作成し時間管理を行う」

前日の業務終了前に、翌日の自分の仕事予定を箇条書きで列記する。そして翌日の時間計画を立てる。これにより1日のやるべき業務内容と時間の目標ができるので、業務の効率化が図れ、時短につながる。

意識改善・意欲向上

《アイデア》

「ECRSの原則(改善の原則)に基づいた意識改善」

ECRSの四原則とは、改善の4原則のことで、工程・作業・動作を対象とした分析に関する改善の指標です。

E(Eliminate: 排除)・・・なくせないか

C(Combine: 結合)・・・一緒にできないか

R(Rearrange: 再編成)・・・順序の変更はできないか

S(Simply: 簡略化)・・・簡略化・単純化できないか

という4原則に倣い、業務を改善していくことを職場で啓蒙し、個人の仕事に対する意識を改善して時短を推進します。

「読書会の導入による生産性の向上」

ビジネス書などの読書会を行い、職員の基礎知識の向上と、知識の水平展開を行う。職員の技術レベルの向上と組織のコミュニケーションの向上により、生産性向上、仕事効率化を実現し、時短へとつなげる。

～番外編～

《実施中》

「サークル活動で時短」

同僚などと一緒にサークル活動をする。一人では、忙しかったりするとやめてしまうが、同僚が一緒にだと自分も参加しなければいけないになり、業務をコントロールして時間通りに終業するようになる。

《アイデア》

「休憩時間の見直しで頭も体もリフレッシュ！」

昼休みの時間を45分とし、15:00から15分の休憩を取ることとする。15:00に休憩を取ることでも頭も体もリフレッシュでき、作業能率が向上し結果時短を図ることができる。

「声かけ運動」

ノー残業デーに関わらず、上司が帰りやすい雰囲気を作ることを心がける。部下への声掛けや、自らが先に帰るようにする。

「レッツ・ゴー・ホーム」

終業時間に木山祐策さんの歌う「home」をチャイムの代わりに流す。その他に(所員の)子供の声を録音して、帰ることを促す。大切な家族が待っていることを思い出す。



～時短アイデアに応募して下さった皆さん～ 取り組みへの参加、どうもありがとうございました

宇佐見 健	片岡 大	出田 敬	瀧 康	伊與田 尚	西本 健	岩永 勉	元木 実
小林 直樹	中村 祐二	酒谷 直行	村田 拓未	鈴木 信也	荒掘 祐司	岩本 聡	西村 綱祐
秋山 旭	田丸 潤一	小林 昂生	上杉 章雄	杉浦 直敏	伊崎 貴文	井上 雅雄	吉野 充
平野 詩織	藤原 誠	金澤 郁人	平松 一郎	後藤 靖貴	小野 美由紀	内田 郁雄	藤巻 誠人
吉川 智久	長坂 洋一	榎原 直人	花 弘志	萩原 由美子	杉山 洋	根岸 珠代	松田 諭
丸山 憲繁	石川 貴之	櫻井 達矢	齊藤 智久	北嶋 広明	川口 怜	桑 素彦	松本 浩一郎
高橋 伸夫	滝井 美恵子	湯本 尚	川久保 伸二	石井 昌己	片岡 義智	田中 高広	大森 千穂
宮本 文宏	尾木 竜駆	石川 裕司	山本 哲郎	吉野 和行	小野寺 理	池田 岳史	兼松 亮
稲垣 智浩	宇野 洋志城	江間 泰介	小山 智久	末永 雅一	高見 貴志	阿部 実雅久	
細川 勝富	伊藤 隆則	武田 貢佑	中村 竜也	松原 良記	山崎 輝士	平澤 直樹	(順不同・敬称略)
小林 良輔	田代 成司	伊藤 将宏	神谷 直樹	成田 達哉	浦島 行長	横山 茂	(応募総数 123名)
松村 茉美	大野 光	向井 隆彦	川口 宏文	永田 英徳	湊 慎弥	森 憲寿	
鈴木 賢	望月 裕太	後藤 師宏	西口 典之	林 洋平	香月 泰樹	森園 直矢	
上田 悟史	布施 翔太	三木 裕幸	加藤 北人	中嶋 智樹	山本 一郎	島津 勝則	

～図画コンクールに応募して下さった皆さん～ 家族と過ごす休日への思いをありがとうございました

野田 千優	橋本 珠恵	伊藤 芽依	花房 亜柚	神谷 知樹	大石 由里菜	小野 直輝	金原 比奈里
野田 光希	片岡 裕貴	福田 遥万	花房 孝良	渡部 桜	渋谷 桃花	宇賀神 茜	金原 古々呂
市村 咲乃	高村 百花	大賀 菜結子	和田 朋也	渡部 海	志村 悠	宇賀神 成美	上坂 心晴
尾石 瑠依	高村 梨花	大賀 紗菜子	和田 侑也	那須 雄登	志村 唯	甲田 美恵	近藤 颯太
尾石 陽菜	鈴木 愛菜	大賀 理紗子	北山 息吹	那須 博登	赤井 案	甲田 祥子	近藤 大暉
古畑 奏樹	鈴木 悠仁	小島 莉瑚	北山 瑞季	谷口 さくら	赤井 仁	杉本 陽紀	秋友 麻帆
福山 颯佑	宮原 侑希	小島 諒太	松田 梨紗	谷口 優樹	赤井 晴	杉本 咲梨	林 紗良
福山 瑳佑	稲田 輝	穴風 諒真	松田 涼太郎	須藤 雅信	田澤 歩実	櫻井 健太	山田 睦綺
深津 有璃	稲田 廉	國武 春那	長尾 広明	須藤 雅弘	大櫃 望乃	櫻井 菜々実	山田 欧介
深津 惟有	澤野 睦弥	國武 舜平	長尾 正美	須藤 ゆりの	大櫃 蒼生	伊與田 克機	鈴木 天翔
田中 稜祐	澤野 晴弥	中川 馨	菅原 寧々	日暮 悠人	大櫃 比呂	伊與田 光騎	鈴木 絢心
田中 混祐	古岡 毅流	井口 優佑	内田 香輝	山口 祥一	秋山 美里	秋山 卓介	日下部 晴香
木原 史葵	小室 璃々子	石井 心和	大塚 千夏	石塚 柊悟	白岩 康佑	生川 愛実	廣内 陽翔
木原 海宙	小室 舞子	山本 佑弥	佐藤 ひろ	小笠原 怜晏	釜田 ひかり	生川 晃大	廣内 悠輝
田村 光樹	北嶋 威隆	山本 尚輝	佐藤 ひなた	伊藤 歩夢	釜田 陽也	加藤 龍一	伊崎 夏穂
遠藤 恒太	北嶋 駿斗	山本 明日香	佐藤 響	高津 浩平	釜田 瑞貴	稲垣 有莉枝	伊崎 祥知花
遠藤 美咲	北嶋 夢	山西 彩子	高橋 若奈	篠原 理子	釜田 凜	稲垣 匠悟	林 るな
遠藤 優太	松岡 理沙	中西 虎太郎	高橋 柚奈	篠原 万以人	山田 苑加	稲垣 亮汰	安田 汐里
杉浦 瑞菜	山本 萌	島津 龍一郎	高橋 奈月	村上 涼雅	山田 惇生	河合 美佳	会田 彩耶音
杉浦 慶士	山本 杏	島津 東奈	中山 陽	村上 泰雅	上村 裕一郎	山田 菜夢	猪越 結介
杉浦 康平	細野 朝子	島津 朋世	中山 桜	門田 優太	上村 隆太	山田 稟人	猪越 倅介

(順不同・敬称略 応募総数168名)

